

中国留学体験レポート

国際文化学科

21017117 三河 唯斗

私たちは8月27日から翌年の1月7日まで北京師範大学という大学に留学させていただきました。その留学で体験したこと、感じたことなどを話していこうと思います。

まず、学業面についてです。学校が始まった初めての授業の時、私は全く授業についていくことができませんでした。先生が色々説明してくれるのですが、その説明も中国語なので私は全く分かりませんでした。初めての授業にも関わらず、他の国の生徒たちは先生の話を理解していてとても驚きました。そこで私は他の生徒たちに置いて行かれないようにクラスメイトの仲間と会話を積極的に行ったり、一人で出かけてお店の店員と話したりしました。その結果もあって、3か月くらいたった頃に授業もついていけるようになり他国の人たちとも比較的会話ができるようになりました。そのようにただ会話できていることが留学期間で一番うれしかったです。

次に生活面についてです。私たちは新松公寓という寮に住んでいました。その寮は教室からとても近く通いやすかったのですが、寮内の環境が慣れない所があり最初の時は大変でした。でもその他の面ではとても住みやすかったです。大学内にはスーパーマーケットや食堂や食べ物市場などがあり食事にも困ることもなく、少し外に出ればデパートがありそこで衣服などを購入できるのでとても便利でした。そして生活面で一番驚いたことは、中国ではほとんどの支払いをスマートフォンで済ませることができることです。「微信」というアプリを入れてクレジットカードを連携させて置くことで支払いの際に現金を使わずに支払うことができます。だから私は出かけるときほとんど財布を持っていくことがなかったです。そういった辺りが発展している国であるなど中国に生活してみて実感しました。

最後に私は周りの人々にたくさん助けられました。その大学に通っている日本人の方には最初の方は全く分からない私たちに親切にしてくれたり、他の国の生徒たちは私があまりしゃべることができない時から積極的に話してくれたり、現地の人たちは私にわかるように丁寧に教えてくれたりしてくれるなど様々な人たちの優しさに本当に助けられました。こう言ったことは留学に行くまでは実感することがなかったので本当にいい経験になりました。この留学を終えて、中国語の能力が向上するというだけでなく人と人との交流の大切さをとても感じ多くの面でも成長することができた中国留学でした。